

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3月12日に産業建設分科会を開催しました。

## 議案第26号 平成31年度総社市一般会計予算

～質疑～

問：桃太郎線LRT化に伴うプロモーション動画の作成だが、具体的な内容、作成時期、活用方法はどうか。また、LRT化について、本市は慎重に協議していくとの立場だが、岡山市やJR西日本との協議はどう進めるのか。

答：プロモーション動画は岡山市、JR西日本、総社市の3者で共同作成し、LRT化事業を行っている宇都宮市が作成したものを参考にする。LRTが走ると町並みが、どのようになっているか分かるような内容等を考えており、詳細は来年度に3者で協議する。作成した動画は説明会等で活用したり、駅等で流したりすることを考えている。

また、岡山市やJR西日本との協議において、本市の立場は伝えており、今後も慎重に協議していく。

問：平成30年7月豪雨に係る公費解体は何件申請があるのか。解体等に伴う廃棄物仮置場運営委託料の1億900万円の内容はどうか。

答：公費解体の申請状況は3月11日現在、104件の申請がある。委託料については、総社西公園に公費解体で発生する廃棄物を仮置きするが、その受付事務、廃棄物の整理、処理先への搬出等にかかる経費である。おおむね12月を目処としている。

問：プレミアム付き商品券の対象者が低所得者と子育て世帯だが、どのように進めていくのか。

答：低所得者の対象者については、6月以降に対象者をしぼり、購入希望の申請を7月以降にしてもらい、9月ごろに商品券の購入引換券を送り、9月下旬から商品券を購入してもらう。

子育て世帯の対象者は、6月以降に対象者をしぼり、9月ごろから商品券の購入引換券を送り、9月下旬から購入をしていただく。いずれも利用期間は10月1日から3月1日を予定している。

問：有害鳥獣の対策の現状はどうか。有効な対策は取られているのか。来年度はどう取り組むのか。

答：平成30年度の現状は、イノシシ643頭、シカ13頭、サル16匹の駆除を行っている。サルについては今年度購入した専用のオリが有効であった。来年度もオリを購入する予定である。

問：中小企業の融資補助金と雇用維持補助金であるが、予算付けの内容はどうか。他に支援の制度はあるのか。

答：平成30年7月豪雨の被災企業については、総社商工会議所や総社吉備路商工会等と連携して支援に取り組んでいる。国のグループ補助金の決定が、岡山県は遅れており、平成31年度にずれ込む企業もある。そのような状況も加味し、融資補助金に係る予算を計上している。雇用維持についても、再建が遅れるなどの事業所があるため雇用維持の補助金も予算計上している。